

有馬癒しの森と泉源をめぐる

第76回 武庫川エコハイク
2013. 7. 13. エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km² 篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。武庫川溪谷にあったダム計画は「ダムに頼らない治水計画」実施でダム事業が23年8月正式に中止となった。

有馬川 有馬町の太閤橋の上流で滝川と六甲川が合流し、有馬川の基点となる。ここから北上して途中有野川を合せて流れ、神戸市北区道場町生野で武庫川に合流する。本川延長約10km、支流を合わせた流域面積81.7km²の武庫川第二の支流である。

滝川 六甲山旧極楽茶屋付近から紅葉谷を流下して有馬温泉に至る。

六甲川 六甲最高峰から流下し瑞宝寺谷、瑞宝寺公園を経て有馬温泉に至る。

有馬温泉 道後、白浜と並ぶ日本三古泉の一つ、湯泉（とうせん）神社に祀られる大己貴命（オオミチノミコ・大国主命）、少彦名命（スクナヒコノミコ）が神代の昔に3羽のカラスに導かれて発見されたと伝えられている。日本書紀によれば7世紀に天皇が行幸されたという。奈良時代の8世紀には僧行基が温泉を開き、温泉寺などを開創され、有馬温泉の基礎を作られた。その後11世紀末に大洪水があり、温泉は荒廃した。鎌倉時代の12世紀になると、大和吉野の僧仁西が熊野権現の夢のお告げで有馬に来て温泉を再興した。この時吉野から連れてこられた人たちに12神将に因んで12の坊を営ませた。今でも有馬温泉には〇坊という旅館が多い。16世紀には戦火と大火により有馬温泉は壊滅状態になった。しかし太閤秀吉が有馬温泉を訪れて手厚い保護を与えた。泉源の保護、六甲川の付け替え、などを行い、洪水から泉源と町を守った。行基、仁西、秀吉は有馬温泉の三大恩人といわれる。

六甲鳴動と鉋毒騒動 明治32(1899)年に急に六甲山が鳴動して有馬温泉の湯温が急上昇して下流農地に被害を与えた。

太閤橋 もと太古橋。昭和3(1928)年滝川暗渠にして路線拡幅を行ったが、この上流部にあった太古橋を下流の延年橋の位置に移築した。この暗渠で昭和13年の阪神大水害では有馬町に大きな被害をもたらした。湯けむり広場に太閤像、上流の六甲川にかかるねね橋の北詰にあるねね像と対向している。

袂石(たもといし) 太閤橋の南詰にある。昔、湯泉神社の祭神熊野久須美命が葦毛の馬に乗り重藤の弓を持って命を射ようとした男に袂の小石を投げつけられた。この小石が大きくなり袂石となったという。また、三輪明神が病魔を退散させるために武庫山よりこの石を投げられたともいう。人々はこの石にさわり、その手で身体を撫でて健康を祈った。近くに「仏座巖」がある。

有馬の泉源 有馬温泉には銀泉(食塩泉)、金泉(含鉄強食塩泉)、炭酸泉、ラジウム泉(ラドン泉)があり、神戸市営のもの、温泉旅館所有のものがある。

御所泉源 「金の湯」の南側に位置する含鉄強食塩泉(金泉)の泉源。

一願不動地蔵 不動坂の途中にあり、天文22(1553)年の銘がある地蔵尊と不動明王の磨崖仏がある。からくり賽銭箱がある。

願い坂と願いの庭 太閤秀吉が願ったら湯が湧き出したといわれる。傍らにある願いの庭には有馬の恩人行基菩薩像と有馬の守護神の3羽の鳥の像がある。

妬(うわなり)泉源 間欠泉で美人が前を通ると湯を吹くと言う。金泉。

有馬筆と竹工藝 何れも有馬温泉の伝統工芸品。

炭酸泉源 射場山と愛宕山の間に射場山断層が走る。有馬サイダー、炭酸煎餅の原料。

有馬稻荷 7世紀舒明天皇、孝徳天皇の時代に有馬に行宮を設けられたが、この守護神として稻荷大神を勧請されたもの。

愛宕山 2千万年前に火山活動で出来た鐘状火山。山上に天狗岩がある。

虫地獄、鳥地獄 かつてこの付近地獄谷で噴出するガスで鳥や虫が死んだことからこの名前が付いた。このガスは炭酸ガスであったが、今は出ていない。

魚屋道 住吉から有馬に通ずる古い道。深江の浜から有馬へ魚屋が魚を運んだ所から「魚屋(トヤ)道」と呼ばれる。東海道線が開通してからは住吉駅から有馬への主要な道であった。

鼓ヶ滝公園 鼓ヶ滝と有明桜を中心とした公園。紅葉の名所でもある。

有明桜 鼓ヶ滝公園の一角にあった桜。今は標石のみが残る。

鼓ヶ滝 滝が上下二段に落ち、上段は岩の間の空洞に落ちて鼓の音を発したという。昭和13(1938)年の阪神大水害時に崩れ、復元されたが一段の滝になった。滝のそばに「清響万古湧白雲」の碑がある。有馬保勝会総裁だった九鬼隆一氏を記念したもの。滝壺に神戸市水道局の取水堰がある。

高塚の清水 有馬三名水の一つ、太閤秀吉が茶の湯に使ったといわれる清水である。滝川の鼓ヶ滝の上流左岸にある。近年、(特)有馬保勝会が発見し再興した。

有馬温泉癒しの森 兵庫県里山林整備事業で平成19年6月に完成した。面積5.3ヘクタール、「有馬温泉里山プロジェクト」の一つ。射場山(690m)を半周する地域。滝川から昔の炭屋道、魚屋道、筆屋道を通り、六甲川の上流に至り、瑞宝寺公園を経て有馬温泉に戻る。

炭屋道 昭和の初めまで炭焼窯が多くあったという。窯跡が残る。

筆屋道 この辺りには有馬筆の材料となる竹材、穂先の獣毛が多く採れたという。

太鼓滝 瑞宝寺公園の上流六甲川にある滝、滝壺がドーム状で落下する水が太鼓の音を出すことから太鼓滝の名となった。

瑞宝寺公園 黄檗宗の瑞宝寺があり、明治6(1873)年に廃寺となった。太閤秀吉が愛した庭は「錦繡谷」「日暮らしの庭」と呼ばれ、紅葉の名所。10月終りから11月初めに見頃となる。

杖捨橋 大阪、生瀬からの入口にある。温泉から帰る客がここで杖を捨てて帰るという。

有明泉源 六甲川のほとりにある。含鉄強食塩泉(金泉)。

天神泉源 天神社の境内にある。含鉄強食塩泉(金泉)。

善福寺 行基菩薩の開創、仁西上人再興の寺、本堂は14世紀鎌倉時代の建築。境内には枝垂れ桜の古木があり、「糸桜」と呼ばれている。4月中旬が見頃。